

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成28年 7月20日更新

事務事業名	合志市郷土・歴史資料館運営事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	教育委員会事務局	課長名 岐部則夫
	施策	24	歴史と伝統文化を活かした郷土愛の醸成		所属課	生涯学習課	担当者名 菅真一郎
	施策の柱	80	歴史と伝統文化に触れる機会の提供		所属班	生涯学習班	(内線) 1515
予算科目	会計一般	款 10	項 5	目 7	事業連番 10923	根拠法令	成果優先度評価結果 : ① コスト削減優先度評価結果 : ③
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 27年度で終了 <input type="checkbox"/> 27年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	平成7年度、合志歴史資料館及び西合志郷土資料館完成。それに伴い事業開始。歴史資料館長を1人配置し歴史資料等の収集・保管・管理及び展示を行なっている。文化財保護の啓発および市民の郷土史学習の支援として、ふるさと探訪まちめぐりバスを複数回実施。年に1回合志歴史資料館にて特別展を開催。子ども歴史科学体験教室については、子どもたちの体験活動支援事業として平成16年度開始。郷土の文化財を周知し、市民に学習の場を提供することを目的として設立。現在残されている貴重な史料は、経年による劣化や破損、散逸の危険性が増えていく。それに伴い、保護して後世に残すべき史料は少しずつ増加すると思われる。また、子ども歴史科学体験教室については、一定の参加者がある。平成26年度より10836合志市郷土・歴史資料館維持管理事業を統合。
【業務の流れ】	収蔵資料の収集、研究、資料作成、展示物および収蔵資料の保管・公開、資料の寄贈・寄託受入れ、市史編纂資料の収集・作成、郷土史学習講座講師、体験教室・企画展の開催。
【主な予算費目】	報酬、報償費、需用費(消耗品費、光熱水費、委託料、備品購入費)
【意見や要望】	活動の周知や内容の充実を図り利用促進を望む意見が出ている。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動) (DO)	② 28年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)	
◎ふるさと探訪まちめぐりバスを3回実施した。参加者79名 ◎特別展は、『ちよっと昔の暮らし』展を実施した。来場者2,300名 ◎郷土資料の収集・展示・収集 ◎子ども歴史・科学体験教室を9回実施した。参加者208名	◎ふるさと探訪まちめぐりバス ◎特別展 ◎郷土資料の収集・展示・収集 ◎子ども歴史・科学体験教室 ◎郷土・歴史資料館資料の適正な管理、資料収集等 ◎郷土資料館と歴史資料館統合の為の調査・準備	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 点	予算の主な増減の理由
→ ア: 展示資料数	点	誘導灯修繕による増額
→ イ: 講座開催回数	回	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
市民	→ ア: 人口	人
	→ イ:	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
郷土史を学ぶことができる	→ ア: 来館者数	人
	→ イ:	
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠 より多くの市民に郷土の歴史について知ってもらうため。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	25年度 実績(決算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	29年度 予定	30年度 見込	31年度 見込	
① 活動指標	ア 点		300	300	300	300	300	300	300	300	
	イ 回		10	11	10	9	10	10	10	10	
② 対象指標	ア 人		58,000	59,067	59,200	60,008	60,100	60,900	61,500	62,000	
	イ:										
③ 成果指標	ア 人		7,456	7,786	9,700	0	9,700	9,700	9,700	9,700	
	イ:										
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円	39	306	20	77	20			
		繰入金	千円								
	一般財源	一般財源	千円	1,903	2,621	2,876	2,633	2,922	2,876	2,876	2,876
		(A) 事業費計	千円	1,942	2,927	2,896	2,710	2,942	2,876	2,876	2,876
		(A)のうち指定経費	千円	1,920	1,920	1,920	1,920	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	1	2	2	2
	延べ業務時間	時間	950	765	600	25	600	0	0	0	
	(B) 人件費計	千円	3,784	3,047	2,390	92	2,390	0	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	5,726	5,974	5,286	2,802	5,332	2,876	2,876	2,876	

事務事業名	合志市郷土・歴史資料館運営事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	-----------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 入館者数が、予定数を下回ったため。
	②28年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 集客を見込めるような特別展などを企画していく。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 より多くの市民の文化財に対する認識を深めるため、周知を徹底することで来館者を増加させることが必要である。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 両資料館との統合や分業により、それぞれ目的を分けて有効活用する。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 現在、必要最小限の経費で運営しているため、削減余地はない。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 現在、必要最小限の人件費で運営しているため、削減余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 資料館は無料で誰もが来館し、歴史や文化を学ぶことができる教育施設であるため。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 市の文化・歴史に関わる資 (史) 料を収集・保管・管理することは市の勤めである。

3 評価結果の総括 (CHECK)

講座によっては、参加者の人数にばらつきがあるため、より多くの市民に歴史に親しんでもらうために、内容の見直し等も常に考えていく必要がある。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						